

5月

新着本の紹介



青字は児童書

予約の受付は、配架する5月1日、午後1時からです。

書名	著者名	内容
とめどなく囁く	桐野 夏生	一番近くにいるのに誰よりも遠い。海釣りに出たまま、二度と帰らなかった夫。8年後、その姿が目撃される。そして、無言電話。夫は生きていたのか。
鹿の王 水底の橋	上橋 菜穂子	なにより大切にせねばならぬ人の命。その命を守る治療ができぬよう政治という手が私を縛るのであれば、私は政治と戦わねばなりません。異なる医術の対立を軸に人の命と医療の在り方を問う意欲作！
シーソーモンスター	伊坂 幸太郎	突然、僕は巻き込まれてしまった。時空を越えた争いに――。舞台は2050年の日本。ある天才エンジニアが遺した手紙を手に、死んだ男の元同僚と配達人が見えない敵の暴走を前に奮闘する！
帰還	堂場 瞬一	東日新聞四日市支局長の水死体が発見され、警察は事故死と判断した。新人時代に同じ支局だった同期3人が、真相究明に乗り出すが…。
マリコを止めるな！	林 真理子	引きも切らぬ不倫報道、日大タックル問題、紀州のドン・ファン事件、皇族の結婚…。時代を一刀両断し続けた、林真理子のタブーなきエッセイ第32弾。
おまえの罪を自白しろ	真保裕一	総理がらみの疑惑の渦中にある代議士の孫が誘拐された！犯人の要求は前代未聞――「罪の自白」。政界に激震が広がる中、代議士と家族の戦いが始まる！政治家一族の身内が誘拐されるという、現実的に起こりうる危機を、圧倒的な迫力で描き出すサスペンス大作！

横浜大戦争 明治編	蜂須賀 敬明	花見に興じる土地神たちの元に届けられた木箱。その中に入っていた黒い水晶玉の影に飲み込まれた土地神たちは、明治時代の横浜に飛ばされてしまい…。横浜の土地神たちが繰り広げる異能バトル。
南極ではたらく かあちゃん、調理隊員になる	渡貫 淳子	平凡な主婦の料理と生き方を変えた1年4カ月の南極暮らし。一念発起して南極地域観測隊の調理隊員になった著者が、昭和基地での生活について綴る。天かすをリメイクした「悪魔のおにぎり」のレシピも掲載。
妻のトリセツ	黒川 伊保子	妻が「いつも不機嫌」「理由もなく怒り出す」「突然10年前のことを蒸し返す」のはなぜ？脳科学の立場から女性脳の仕組みを前提に、妻の不機嫌や怒りの理由を解説し、夫側からの対策を指南する。
思わず考えちゃう	ヨシタケ シンスケ	あわよくば、生きるヒントに！ みんな待ってた、初エッセイ集。大人も子どもも、それ以外も、「考えすぎちゃう」すべての人へ——。「自由って何？」「子どもに優しくできないよ」「あれは人生の無駄？」「他人のストローの袋が気になる」「明日、すごいやる気を出す方法」等々。絵本作家ヨシタケシンスケの、読むとクスツとしてホツとしてちょっとイラツとする、スケッチ解説エッセイ！
チコちゃんに叱られる なぜ、ひととわかれる ときにてをふるの？	海老 克哉	永遠の5歳・チコちゃんが、あの「なぜ」を知った日は…。NHK TV「チコちゃんに叱られる」の構成作家とキャラクターデザインの著者2人が、チコちゃんのひみつを明かす。

※NHKテレビテキスト

「きょうの料理」「すてきにハンドメイド」「きょうの健康」も貸し出ししています。